

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>自治会主催の「ふれあい喫茶」への参加や商店街での買い物、近郊の散歩、月に2回、地域の方の協力を得て「ハーモニカレク」等も行っております。</p>	<p>その方の思いに近づき少しでも話し合いの時間を多く持ち、要望に添えるよう取り組んでいきたい。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>定期的なフロア会議や各委員会等で確認している。また理念の共有、実践に向けて取り組んでいます。</p>	<p>職員一人ひとりが入居者様と関わりを多く持ち、話す機会を増やし信頼関係を持つ事が出来る様に取り組んでいきたい。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>毎月家族様に配布しております『ゆうとび庵通信』や運営推進会議等で理解、浸透に取り組んでいる。</p>	<p>施設行事や毎月のレクリエーション等の掲示を行い、家族様や地域の皆様が立ち寄り良い様に工夫をする。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>施設周りの掃除や花の水遣り、公園を散歩したり外食、喫茶店、理髪店、美容室、商店街等に出掛けたりと積極的に行っている。</p>	<p>今後も地元の活動への参加や地域の皆様との交流が持てる様に取り組んでいきたい。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>自治会主催の「ふれあい喫茶」への参加や地域の方の協力を得て「ハーモニカレク」等も行ってまいります。</p>	<p>その他の地元の活動にも取り組んでいきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>子供110番やAEDをいつでも利用して頂ける様1Fに設置し、玄関入り口にも案内掲示をしている。</p>	<p>当庵で役立つ事を更に追求して行きたい。</p>
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価結果の報告及び改善すべき点については、マネージャー会議 各フロア会議にて取り組んでいる。</p>	<p>評価を有効に活用出来る様、サービスの質の確保に活かしていきたい。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に一度は運営推進会議を行っています。</p>	<p>議場での内容をサービスの質の向上に結び付けて行きたい。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営上で困った事等があれば、担当部署に問い合わせたり相談させて頂いております。また各報告内容にうつきましても迅速に対応させて頂いております。</p>	<p>更に機会作りに取り組んで行きたい。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>各職員に資料を回覧、配布し、活用出来る様にしている。</p>	<p>外部で開催される講習会への参加を行ってきたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止についての研修への参加や虐待マニュアルを作成し配布している。</p>	<p>委員会等での話し合いや講習会への積極的な参加を行う。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>その都度時間を掛け、誤解の無い様に対応しております。</p>	<p>今後も家族様にとって分かり難い箇所等はないが、自己点検を行っていきたい。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日常的に入居者様へは話しよい雰囲気を作り会話を通じてお聞きしております。食事レクリエーション等も入居者様の意見を多く取り入れて対応しております。</p>	<p>まだまだ不十分な所もある為、職員側から聞き出す取り組みを行っていきたい。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月『近況報告』を家族様宛てに入居者様の様子を報告している。緊急搬送等の急変時については速やかに連絡、報告をしている。</p>	<p>『ゆうとび庵通信』には職員紹介欄を設けて案内を行っている。今後もきめ細かな連絡・報告を行っていきたい。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置し幅広くご意見を頂いたり、日頃から家族様が話しをしやすい雰囲気を作っております。</p>	<p>職員一人ひとりがこの様な意識を常に持つ事が出来る様に話し合いを行っていきたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>各フロア会議やマネージャー会議の場に於いて意見・提案を聞く場を設け常に改善に向けての取り組みをしている。</p>	<p>個々の職員との意見・提案を聞く時間、場所を増やす必要がある。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>各フロア会議やマネージャー会議の場に於いて話し合い、調整を行っている。</p>	<p>常に職員同士の連絡網を把握し緊急時の職員確保に努めている。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の能力・経験に応じて職場の配置に配慮しています。</p>		<p>更にスキルアップを目指した勉強会等の実施を行いたい。</p>
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会への参加を段階的に行っています。また資格取得のための補助も行っております。</p>		<p>常勤者のみではなく非常勤職員も研修会への参加がし良い様に取り組んでいきたい。</p>
<p>20 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>情報交換や相互見学等を行っている為、今後はレベルアップを図って行きたい。</p>		<p>今後更なる取組みを行って行きたい。</p>
<p>21 職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>過酷な勤務状況にならない為の休日の確保に十分留意している。</p>		<p>特に新しい社員等には悩み事や相談を積極的に聞く様にしたい。</p>
<p>22 向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>経験・能力・資格に応じて責任職へ配置している。</p>		<p>実力に応じて各研修の受講やフロア長、計画作成担当者等の責任ある役職を目指してが頑張れる体制を維持する。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居相談時からご本人との面談をし情報を聴きとっている。</p>	○	<p>面談回数を増やし利用までの変化の状態を把握する必要がある。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>上記同様に対応しております。</p>		<p>上記同様に回数を増加したり、相談しやすい雰囲気を作り出す努力が必要である。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>様々な専門機関との連携を図っており対応できる様になっている。</p>	○	<p>相談できる専門機関件数を増やして行きたい。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者様が自宅等で愛用していた物があれば施設に持ち込んでもらい自宅と変わらない生活環境を作る工夫をしている。</p>	○	<p>初期の段階では自宅と施設を行き来しながら当庵の環境・雰囲気に馴染んでもらう事で安心して頂ける様な支援を取り組みたい。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者様の思いに近づき共感し合える関係作りに今後も取組んでいきたい。</p>		<p>職員ひとり一人が入居者様の気持ちになってケア出来る様に努めたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族様来庵時には必ず職員が声かけを行い、入居者様の状況を伝えている。		今後も出来るだけ施設へ足を運んで頂けるように働きかけていく。
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族様の都合に合わせて外泊や外出等の機会を増やし、今後つながりを大切にしていける様に支援をしていく。		今後も家族様に施設での様子を伝え、つながりを持って頂ける働きかえる。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者様の趣味、趣向を聞いたりして普段のレクリエーション等に取り入れている。		友達が来庵できる一緒に過ごして頂いたりしています。今後も馴染みの場所へ出かけたり出来る様に家族様にも働きかけていきたい。
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員の関わりによりその人らしく生活して頂ける様に努めている。		外出や季節レクリエーションへの参加を促し、入居者様同士の交流が持てる様に支援している。
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	出会った時には挨拶を交わし利用者様や家族の近況を尋ねたりしている。	○	レクリエーションの参加への呼びかけを行いたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>			
<p>1. 一人ひとりの把握</p>			
33	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者様と会話できる時間を設けたり、困難な方については家族様から情報を聞いたり、フロア会議等で検討している。</p>	<p>今後も職員が意見を持ち合い、把握していきける様に努める。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>家蔵様からの情報やサマリーを活用している。</p>	<p>フロア会議でのモニタリング時に職員に把握して貰える様に努めている。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>介護記録・体調変化表・健康管理表等に記録し、状況を把握している。</p>	<p>申し送りノート等で職員の情報の共有に努めている。</p>
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>定期的なフロア会議でモニタリング評価を行い、作成している。</p>	<p>今後、医療関係者が参加出来る様に努めたい。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>都度、変更作成している。</p>	<p>今後も早急に対応出来る様、取組んでいきたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録・体調変化表・健康管理表等に記録し、状況を把握している。		申し送りノート等で職員の情報の共有に努めている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	他医療機関への通院や介護用品等の一時使用等。		状況に応じて馴染みの職員が対応出来る様に申し送りやフロア会議等で確認、共有をしている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	東淀川消防署による避難訓練を定期的に入居者様と共に行っています。		救急救命講習会を行い、緊急時に備えている。
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の希望や好みを表現できるよう支援している。	○	決める力を意図的に引き出せるよう取組んで行きたい。
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	当庵主催の運営推進会議にも参加して頂いており取っており、各種情報等も提供して頂いております。	○	今後もより連携を深めて取組んで行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	医療機関と提携している。	かかりつけ医に週3回、訪問診察を受けています。
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	精神科・診療内科の専門医とも医療機関と提携している。	2週間に1回の往診と必要都度の受診を行っております。
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	最低週1回の訪問看護にて支援を行っております。	更に連携を密にして行きたいと思います。
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	提携医療機関ととの連携により実施しております。	○ 利用者が入院した場合は馴染みの職員がお見舞いに行く事で本人の不安を軽減する。また現況を把握し早期退院に向け、病院関係者と話し合いをしている。
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	入居時に当庵の指針を説明し理解を頂いております。	○ 実際に重度化された場合は、早期に話し合いを行ない、家族の意向を確認しながら対応して行く必要があります。
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	指針を元に提携医療機関とも日常から検討を行っています。	○ 様々なケースがある為、更なる検討の必要性を感じております。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	サマリーを作成し、本人の状況等の情報を詳しく伝えている。		本人に混乱等が起ころうとしても、提携医療機関等との連携を密にして対応する事が必要であります。
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	声かけや対応には十分注意を払い、努めている。		プライバシーの確保については今後も毎月のフロア会議で確認、徹底をする。
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	出来るだけ寄り添い、話を傾聴する様にしている。		今後も決める力を意図的に引き出していける様に取組んでいきたい。
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	出来るだけ入居者様の声を大切にしてその人らしい生活が出来る様に過ごして頂いています。		日々の暮らしがその人らしいものになる様、今後も支援したい。
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	毛染め等、入居者様の希望に添い、美容室や理髪店に行ける様に努めている。		定期的に美容師の方に来て頂いています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事一連の作業を職員と一緒にやり、楽しいものになるよう支援している。</p>	<p>毎月、食事レクリエーションをおこなっている。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>一緒に買い物に出かけたり料理を作ったり、楽しんで頂けるように支援している。</p>	<p>入居者の意見を取り入れマクドナルドや外食など食事レクリエーション等を毎月設け普段とは違う物を食べて頂ける様取組んでいる。</p>
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>定期的に声かけ、トイレ誘導を行い、清潔保持ができる排泄環境を支援している。</p>	<p>タイミングを計り、個々の排泄パターンや習慣を把握し、今後も清潔保持に取組んでいく。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>ひとり一人の希望に応じ入浴をして頂いています。</p>	<p>拒否が見られる方についてはゆっくりと時間をかけて出来るだけ納得して頂ける様な声かけをしている。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>昼寝の時間を設けたり入居者の状態に合わせて安心して休んで頂ける様、支援している。</p>	<p>個々の生活パターンを把握し不安等が生じない様に入居者の声を大切に受け止め、取組んでいきたい。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>食事の準備や食器洗い、食器拭き、廊下掃除、花の水やり等出来る方には役割を持って頂いています。</p>	<p>図書館や喫茶店、商店街等に買い物に出かける等、個々に合わせた支援をしている。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	いつでも使用出来る様に支援している。		家族様と今後も相談を行っていく。
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	入居者様の希望に添えるよう、支援している。		ひとり一人の入居者様の状態を把握した上で散歩や日光浴等の支援に取組んでいきたい。
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	家族会等で話し合う等、家族様と相談をして出かけられる機会を作っていく。		家族様の協力や理解が必要である。今後も取組んでいきたい。
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	家族様からの電話を取り次いだり、入居者様からの要望があれば支援している。		今後も家族様とのつながりを持つ意味においても声かけを行い、今後も要望があれば対応を行っていく。
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	いつでも来庵して頂ける様にゆうとび庵通信や訪問時等にも声かけを行っている。		来庵時にはゆっくりと居室で過ごして頂ける様、セッティングをしている。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	マネージャー会議で虐待防止マニュアル等を使って話し合いをしている。また講習会等への参加を行っている。		今後も研修や講習会への参加を積極的に行っていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は状況によりますが、極力鍵をかけない様努めております。</p>	<p>夜間等は防犯等から施錠を行っております。</p>
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>日中は出来るだけレクリエーションの時間を設け談話室で過ごして頂ける様に取組んでいます。</p>	<p>居室で過ごされている場合は随時、様子確認を行っています。</p>
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>注意を要する物品については見守りを必ず行い、始めから何でもこちら側で預かる様な事はしない様にしております。</p>	<p>どこにどの様な危険があるか把握する事を重点を置く必要があります。</p>
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>毎月職員全員に「ひやりはっと」の提出を行い対応策を話し合っている。 緊急対応マニュアルを作成している。</p>	<p>各自職員が危機意識を持ち、ひとり一人のリスクを把握して取組んでいけるように危機管理委員会やフロア会議等で具体的に検討、確認をしていく。</p>
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>緊急対応マニュアルを作成している。 救急救命講習会を行っている。</p>	<p>緊急時に活かせる技術を身につけていける様に定期的に勉強会を設け危機管理委員会を中心に取組んでいきたい。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>法令順守より避難訓練を半年に1回は必ず実施し、非常時に備え対応マニュアルを作成しています。</p>	<p>○</p> <p>運営推進会議等で地域の方の協力が得られる様、話し合いを行っている。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>		<p>緊急の場合は電話報告をしたり、ケアプラン等の説明時等にも家族様と話し合い、理解して頂いている。</p> <p>今後も状況変化に応じ、対応を行っていききたい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		<p>常に観察を行い、誰でも記入し良い様に申し送りノートを活用し、共有している。</p> <p>毎朝バイタル測定を行い顔色や様子観察をしている。また夜間の異変についても異常が見られる時は速やかに管理者に報告をしている。</p>
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		<p>誤薬を起こさない様の服薬チェック表を作成している。また症状の変化についてはつねに観察を行い、医師に報告後、健康管理表に記入している。</p> <p>薬の変更や中止などは必ず申し送りノートや健康管理表、体調変化表に記入報告をしている。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		<p>ひとり一人の水分量や排便管理を行っている。牛乳や乳酸飲料を摂取して頂く。</p> <p>軽い運動を取り入れたたり、廊下を歩いて頂くよう、声かけを行っている。3日間便通の無い方には医師の相談をして薬を服用して頂いています。</p>
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		<p>毎食後のうがいや歯磨きを行っている。</p> <p>毎週金曜日に歯科医が訪問診察を行っている。ひとり一人の口腔状態を把握、管理をしている。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		<p>咀嚼、嚥下状態が困難な方には調理方法を変えている。食事摂取量や水分摂取量の記入管理を行っている。</p> <p>食事摂取量や水分摂取量の記入、確認をしている。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症についての資料の回覧や危機管理委員会やフロア会議等で勉強会を行っている。		感染症予防に関する講習会への参加を行っている。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理前には必ず手洗いをし、調理用具の漂白、除菌をしている。随時、食品や調味料の賞味期限の確認をしている。		食材が残った時は必ず冷蔵庫扉マジックボードに日付けを記入している。冷蔵庫内の整理、清掃を週に一度行っている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先にAEDの設置やこども110番などの提示を行っている。		近郊の方が来庵されボランティアの話を頂いたり、お母さんと子供さんが「トイレを借りたい」と入って来られる等、気軽の声をかけて頂いている。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や談話室の生け花や季節ごとの飾り付けを行っている。	○	所々に廊下の床に染み等があるので目立たないようにしたい。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う入居者様同士、居室で過ごされたり、テラスに貼りだしている歌を歌ったり等、会話を楽しめる。		本人のペースで過ごして頂けるよう、職員が気付き、配慮する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来るだけ馴染みのものを持ち込んで頂けるように家族様と相談をしている。	○	居室で過ごせるようにテレビ・ラジオを置いていただいている。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	定期的に窓を開けての換気や加湿器・空気清浄機などを設置し空気の乾燥を防止している。		温度調節は各居室ごとに行い、居室でのおむつ交換についてはにおいが残らないよう、せっけんや芳香剤を使用している。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危機管理委員会を設け、毎月の「ひやりはっ」との提出及び、危険箇所や危険防止についての話し合い、確認をしている。		職員ひとり一人が危機意識を持ち、転倒リスクの高い方への見守りを強化する等、「ひやりはっ」とに記録し対応策について話し合いを行っている。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレの表示や居室入りロドアにわかりやすく大きい文字で表札を作っている。		特に衣類等、物品については出来るだけ名前を記入するようにしている。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダや玄関先に季節の花を植え育てている。水やり等のお世話をお願いしている。ベランダから眺められたり玄関先ではテーブルを囲みお茶会等も行っている。		生活委員を中心に駐車場や建物周りの掃除を入居者様と一緒にしている。玄関先では各階ごとにプランターを設置し花を増やし育てている。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

2ヶ月に1度開催している運営推進会議や月に1度の「ふれあい喫茶」への参加等と地域の皆様とは良い関係は築けつつあります。また昨年にはAED設置を行い近隣の皆様にも必要時に使用して頂ければと考え、大阪府が推進する「AEDマップ」にも協力施設として登録致しました。その後、より地域の皆様に親しみとご利用を頂くとうと「こども110番」の登録も行いました。近隣の方による、ハーモニカボランティアの受入れや今後はマジックボランティアの受入れや小学校の学校開放「遊ぼうDAY！」等にも積極的に参加出来ればと考えております。